

NY マーケットレポート (2014 年 8 月 29 日)

NY 市場では、序盤に発表された米個人支出が 6 ヶ月ぶりにマイナスとなったことや、シカゴ購買部協会指数、ミシガン大学消費者信頼感指数が共に市場予想を上回る結果となったものの、いずれも反応は限定的となった。特に、米国の 3 連休を控えて積極的な売買が手控えられており、序盤からドル円・クロス円は小動きの展開が続いた。そして、英国がシリア・イラク情勢を受けて、国内のテロ警戒レベルを引き上げたとの報道を受けて、一時リスク回避の動きが強まる場面もあったが、その後は、薄商いの中、小動きの展開が続いた。

2014/ 8/29 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	103.84	103.86	103.69
EUR/JPY	136.74	136.85	136.58
GBP/JPY	172.36	172.43	171.96
AUD/JPY	97.14	97.18	96.92
EUR/USD	1.3170	1.3187	1.3160

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	103.99	103.80
EUR/JPY	137.18	136.68
GBP/JPY	172.55	172.25
AUD/JPY	97.19	97.00
EUR/USD	1.3197	1.3167

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15424.59	-35.27
ハンセン指数	24742.06	+1.06
上海総合	2217.20	+21.38
韓国総合指数	2068.54	-7.22
豪ASX200	5625.90	+1.49
インドSENSEX指数	26638.11	+77.96
シンガポールST指数	3327.09	-3.13

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6819.75	+13.95
仏CAC40	4381.04	+15.00
独DAX	9470.17	-7.61
ST欧州600	342.00	+0.95
西IBEX35指数	10728.80	+6.60
伊FTSE MIB指数	20450.49	+109.40
南ア 全株指数	50959.00	-174.11

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	104.07	104.11	103.82
EUR/JPY	136.74	137.17	136.59
GBP/JPY	172.81	172.82	172.30
AUD/JPY	97.19	97.20	97.06
NZD/JPY	87.01	87.15	86.90
EUR/USD	1.3140	1.3194	1.3134
AUD/USD	0.9340	0.9356	0.9332

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17098.45	+18.88
S&P500	2003.36	+6.62
NASDAQ	4580.27	+22.58
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15625.73	+67.56
ブラジルボルサ指数	45628.09	+126.81
ボネバ指数	61288.15	+997.28

9/1 経済指標スケジュール

08:30	【豪】8月AiG製造業指数
08:50	【日】2Q法人季報設備投資
10:00	【中】8月製造業PMI
10:30	【豪】2Q企業営業利益
10:30	【中】8月HSBC製造業PMI
14:00	【日】8月自動車販売台数
15:00	【独】2Q GDP
16:30	～ 17:30
	【スイス】【仏】【独】【欧】【英】8月製造業PMI
17:30	【英】7月住宅証券融資高
17:30	【英】7月マネーサプライM4
17:30	【英】7月住宅ローン承認件数
17:30	【英】7月消費者信用残高
18:00	【南ア】8月カギンPMI
19:00	【南ア】8月Naamsa自動車販売

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1287.40	-3.00
NY 原油	95.96	+1.41
CMEコーン	364.75	-4.50
CBOT 大豆	1024.25	-4.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.49%	0.50%
3年債	0.93%	0.94%
5年債	1.63%	1.63%
7年債	2.04%	2.02%
10年債	2.34%	2.34%
30年債	3.08%	3.08%

9/1 主要会議・講演・その他予定

・米国市場はLabor Day (レイバーデー) で休場

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 103.99 ユーロ/円 137.16 ユーロ/ドル 1.3191

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6813.86	+8.06	ダウ INDEX FUTURE	17110	+33
仏 CAC40	4374.19	+8.15	S&P500 FUTURE	2001.00	+4.30
独 DAX	9467.75	+5.19	NASDAQ FUTURE	4079.75	+10.00

(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月南ア貿易収支 -69億 ZAR (予想 -40億 ZAR・前回 -2億 ZAR)



(出所: ブルームバーク)

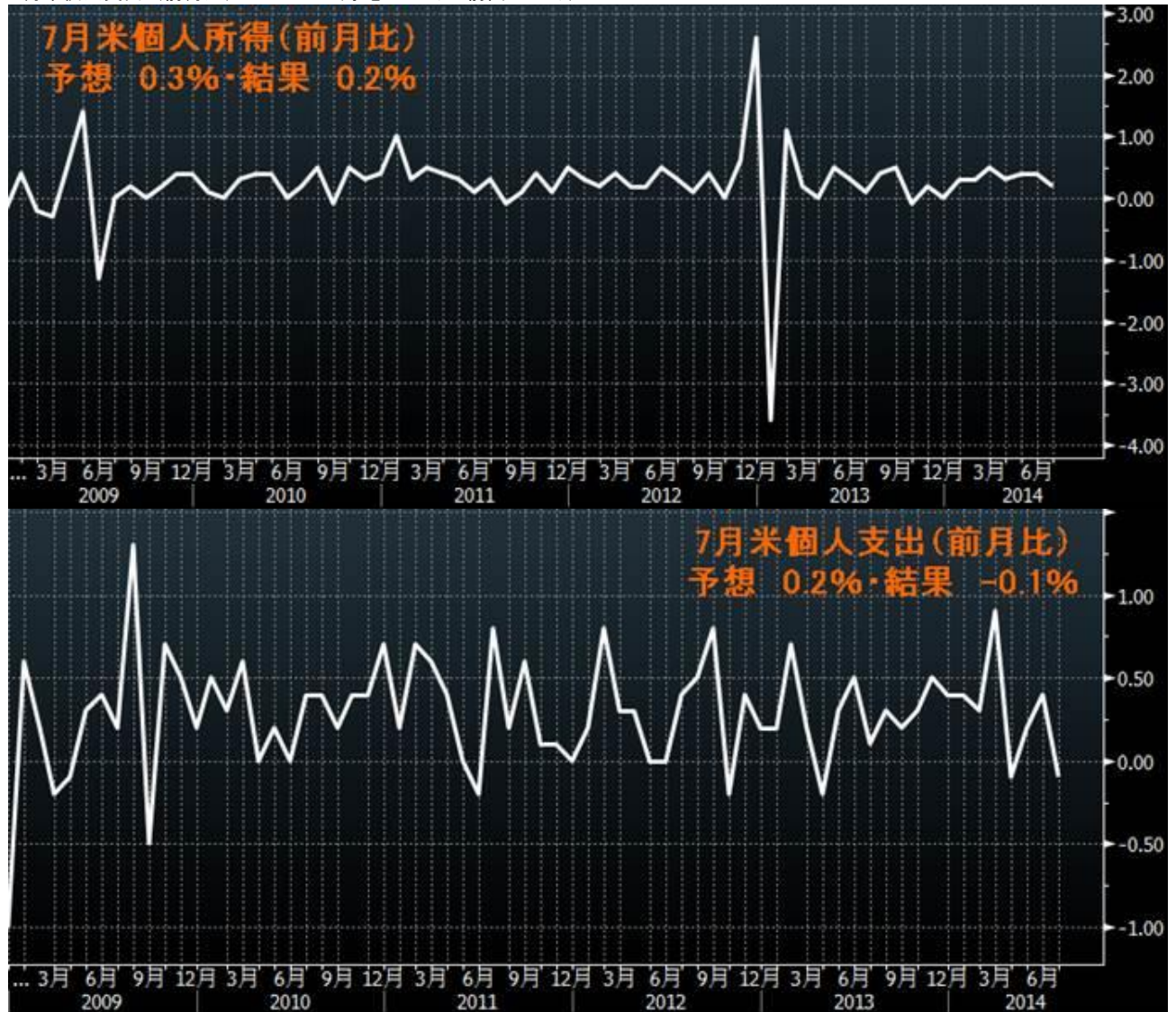
21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米個人所得（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.5%）

前回発表の0.4%から0.5%に修正

7月米個人支出（前月比） -0.1%（予想 0.2%・前回 0.4%）



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 米個人所得・支出 ▶

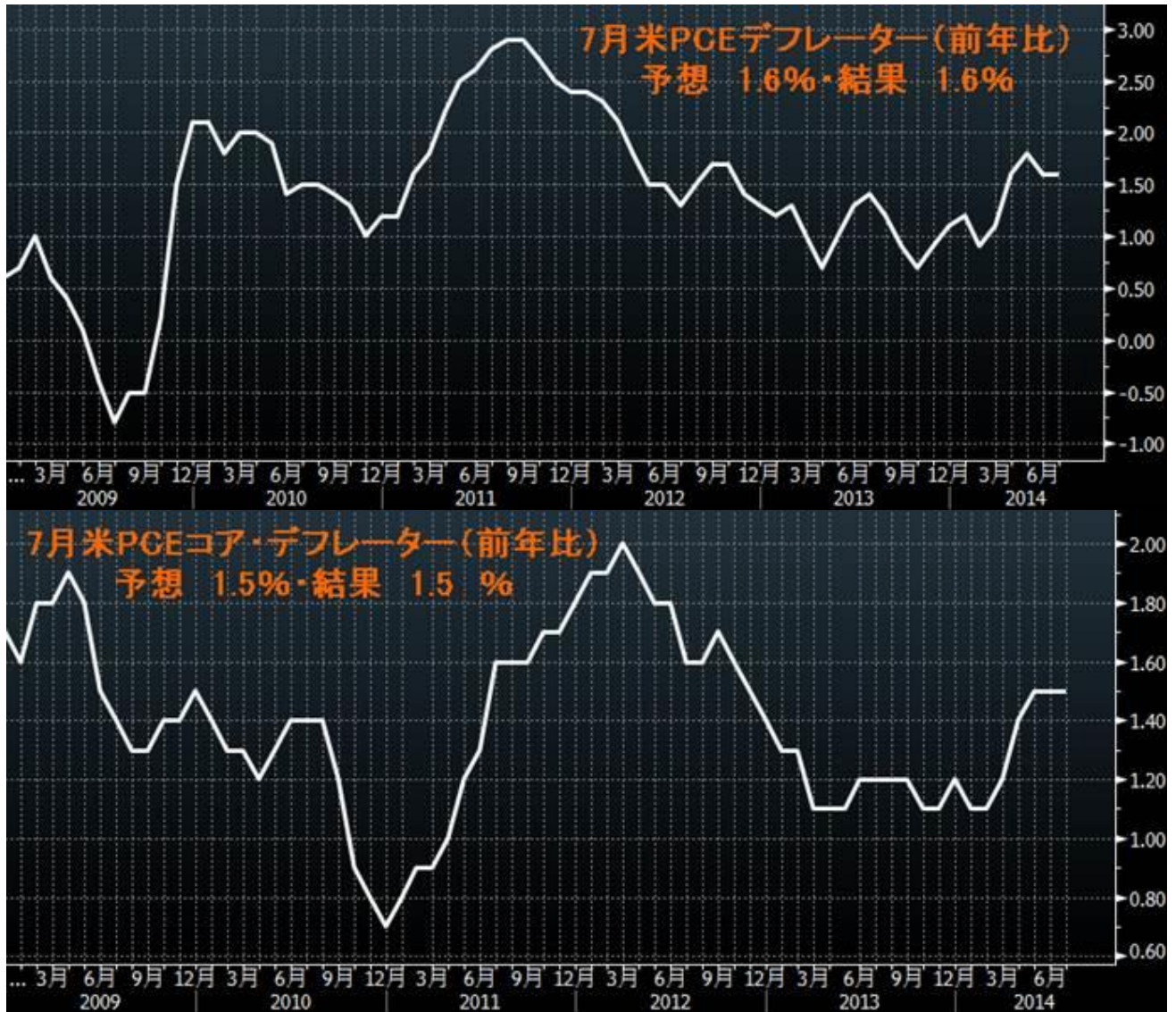
	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
個人所得	0.2	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6	0.5
賃金・給与	0.2	0.3	0.3	0.2	0.7	0.7	0.9
可処分所得	0.1	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6
個人消費支出	-0.1	0.4	0.3	0.2	0.8	0.4	-0.2
個人貯蓄率	5.7	5.4	5.4	5.2	4.8	5.0	4.9

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米PCEデフレーター（前年比） 1.6%（予想 1.6%・前回 1.6%）

7月米PCEコア・デフレーター（前年比） 1.5 %（予想 1.5%・前回 1.5%）



(出所:ブルームバーグ)

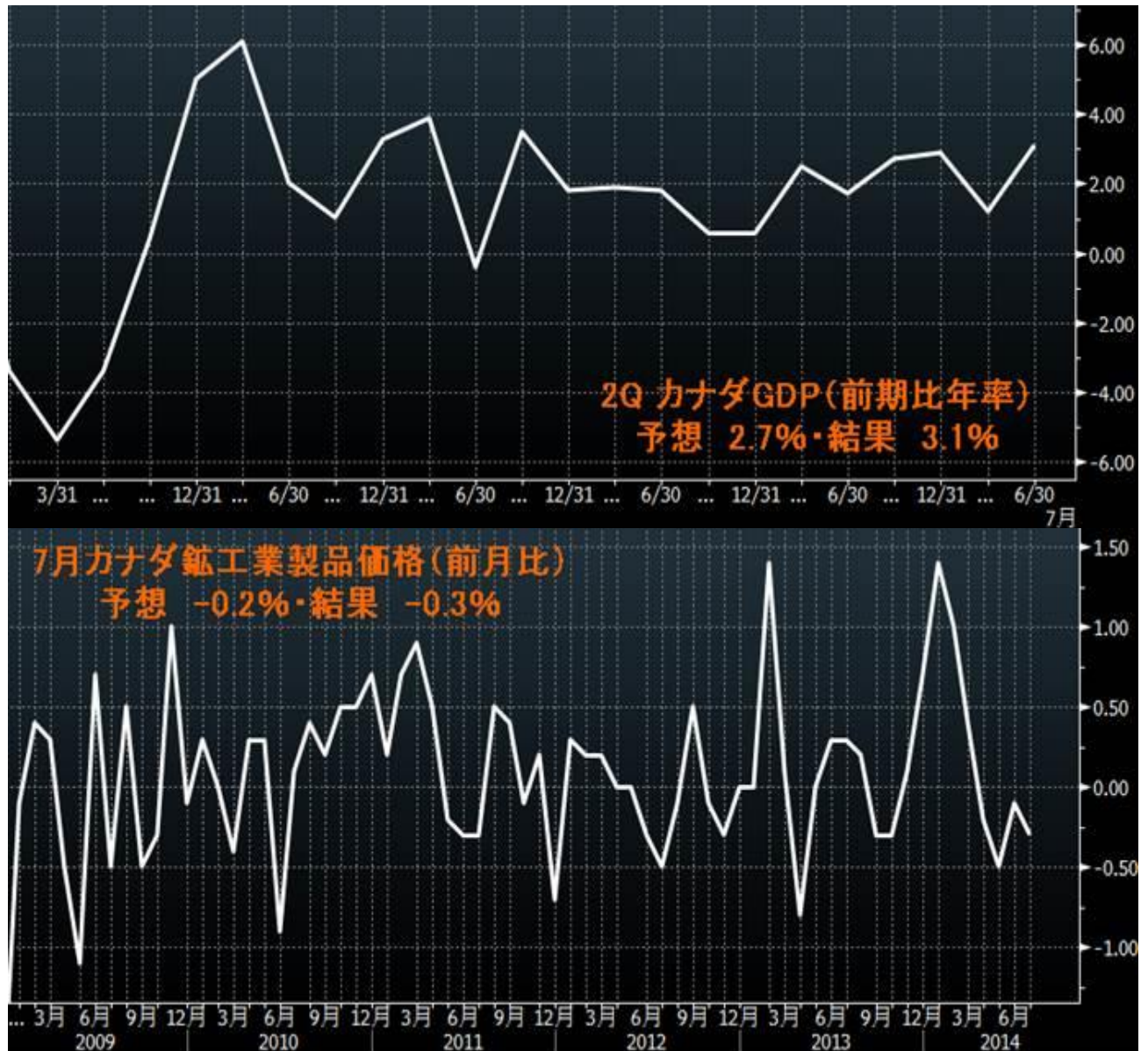
21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2Q カナダ GDP (前期比年率) 3.1% (予想 2.7%・前回 0.9%)
 前回発表の 1.2%から 0.9%に修正

7 月カナダ鉱工業製品価格 (前月比) -0.3% (予想 -0.2%・前回 0.1%)
 前回発表の-0.1%から 0.1%に修正

7 月カナダ原料価格指数 (前月比) -1.4% (予想 -1.8%・前回 1.1%)



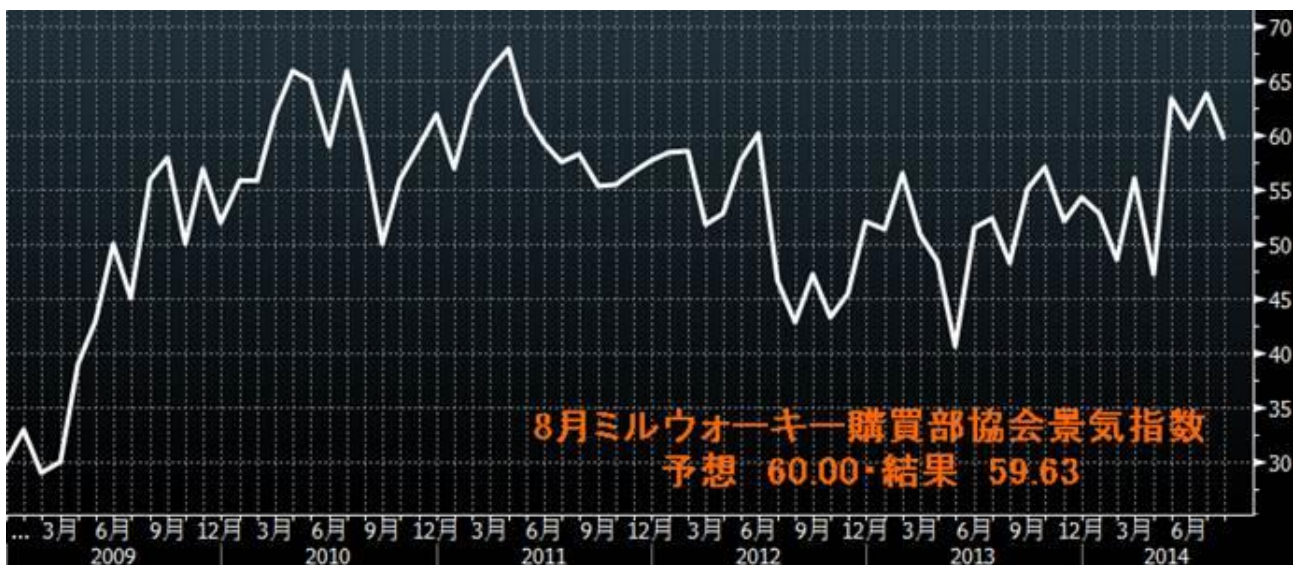
(出所:ブルームバーグ)



(出所: ネットダニアー)

◀ 経済指標の結果 ▶

8月ミルウォーキー購買部協会景気指数 59.63 (予想 60.00・前回 63.87)



(出所: ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

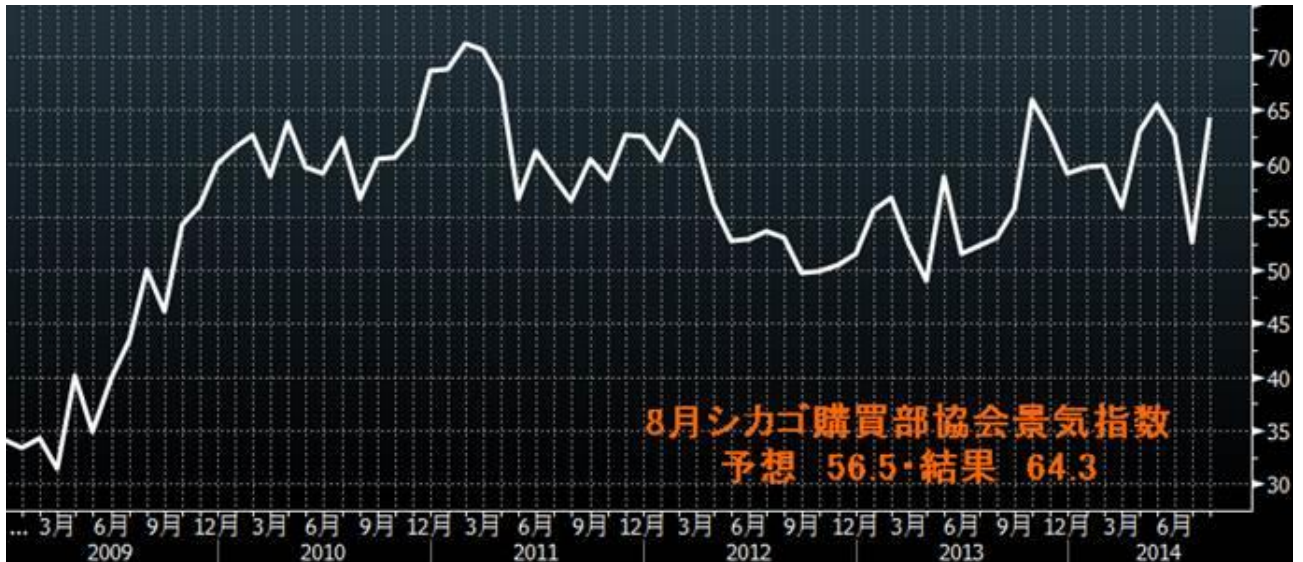
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17101.01	+21.44
ナスダック	4571.18	+13.49

(出所: SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月シカゴ購買部協会景気指数 64.3 (予想 56.5・前回 52.6)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀シカゴ購買部協会景気指数▶

8月・・・7月・・・6月・・・5月・・・4月・・・3月・・・2月

景気指数・・・64.3・・・52.6・・・62.6・・・65.5・・・63.0・・・55.9・・・59.8

22 : 55

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月ミシガン大学消費者信頼感指数 82.5 (予想 80.0・前回 79.2)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

8月速報・8月速報・7月・6月・5月・4月・3月

消費者信頼感・・・82.5・・・79.2・・・81.8・・・82.5・・・81.9・・・84.1・・・80.0

景気現況指数・・・99.8・・・99.6・・・97.4・・・96.6・・・94.5・・・98.7・・・95.7

消費者期待指数・・・71.3・・・66.2・・・71.8・・・73.5・・・73.7・・・74.7・・・70.0

1年インフレ・・・3.2・・・3.4・・・3.3・・・3.1・・・3.3・・・3.2・・・3.2

5年インフレ・・・2.9・・・2.8・・・2.7・・・2.9・・・2.8・・・2.9・・・2.9

23:30

《NY株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、前日の下落で割安感の出た銘柄に買い戻しが入るなど、序盤の主要株価は小動きながら堅調な動きとなった。しかし、その後、英政府が国際テロに対する警戒レベルを引き上げたとの報道を受けて、リスク回避の売りが出て軟調な動きが続いている。

《経済指標のポイント》

(1) 米7月の個人所得・消費統計では、個人消費支出が前月比-0.1%と6ヵ月ぶりにマイナスとなった。個人所得は+0.2%となった。寒波の影響が後退した1月から緩やかながら増加が続いた米個人消費だが、ここにきて失速となり、回復の弱さが浮き彫りになった。

①自動車や家具などの耐久財が-0.7%と3ヵ月ぶりのマイナス、食品やエネルギーなどの非耐久財は-0.1%と6ヵ月ぶりのマイナス、サービスは前月から横ばいとなった。また、税金の支払いなどを除いた可処分所得は+0.1%、貯蓄率は5.7%となった。

②FRBが物価安定の目安としている個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同月比で+1.6%の上昇で、長期的に達成すべき目標とする2.0%を引き続き下回っている。

(2) 8月のシカゴ購買部協会製造業景況指数は64.3となり、前月の52.6から上昇した。前月大きく低下したものの、その反動で大きく反転し、3ヵ月ぶりの高水準となった。当該指数は、50が製造業活動の拡大と縮小の判断基準となる。

(3) 8月のミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は82.5となり、8月の速報値から3.3ポイント上昇し、市場予想の80.1も上回る結果となった。前月比では0.7ポイントの上昇となった。現状指数は99.8と8月速報値から0.2ポイント上昇、前月比では2.4ポイント改善となり、2007年7月以来、7年1ヵ月ぶりの高水準となった。1年後のインフレ期待は3.2%で8月速報値から0.2ポイント、前月から0.1ポイント低下した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6819.75	+13.95
仏 CAC40	4381.04	+15.00
独 DAX	9470.17	-7.61
ストック欧州 600 指数	342.00	+0.95
ユーロファースト 300 指数	1373.82	+4.49
スペイン IBEX35 指数	10728.80	+6.60
イタリア FTSE MIB 指数	20450.49	+109.40
南ア アフリカ全株指数	50959.02	-174.11

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、序盤から堅調な動きとなったものの、英政府が国際テロに対する警戒レベルを引き上げたとの報道や、米株価が軟調な動きとなったことを受けて下落する場面もあった。しかし、主要株価は終盤には再びプラス圏まで値を戻して引けている。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17102.20 (+22.63)、S&P500 2002.29 (+5.55) ナスダック 4578.93 (+21.24)

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、前日までの上昇の反動で一旦利益を確定するための売りが出る一方で、月末のポジション調整の買いもあり、小動きの展開が続いている。米シカゴ購買部協会指数やミシガン大消費者信頼感指数はいずれも市場予想を上回ったものの、影響は限定的となった。

午前の利回りは、30年債が3.07%（前日3.07%）、10年債が2.34%（2.34%）、7年債が2.04%（2.02%）、5年債が1.63%（1.63%）、3年債が0.94%（0.94%）、2年債が0.50%（0.50%）。

《欧州のポイント》

① ショイブレ独財務相は、インタビューで、「正直なところ、ECBの金融政策にデフレ対策となる手段があると思わない」と発言。ドイツでは、消費者や投資家の高い信頼があるため、内需が成長率を牽引していると付け加えた。ECBができることには限界があり、「金融政策は時間を稼ぐだけだ」と語った。「市場の流動性は低過ぎることはなく、むしろ高過ぎる。このため、金融政策での措置は尽きており、われわれが至急必要としているのは投資と、投資家や市場、消費者の信頼を取り戻すことだ」と強調した。

② デンマークの第2・四半期GDP速報値は、市場予想の+0.3%を下回る-0.3%となった。欧州経済の減速に対する輸出依存型経済の脆弱さが浮き彫りとなった。デンマーク経済が第2・四半期に減速感を強めた欧州経済と無縁ではいられないことをはっきり示す数字となり、輸出は失望感を誘い、投資も低迷した。これは、欧州各国と同じ構図であると指摘されている。

③ EU統計局が発表した8月のユーロ圏消費者物価指数速報値は、前年比+0.3%と、7月の+0.4%から伸びが鈍化し、2009年10月以来約5年ぶり低水準となった。エネルギー価格が下落したことが、指数を押し下げる要因となった。また、サービスも上昇幅が縮小したが、工業製品などは値上がりした。項目別では、値動きの大きいエネルギー価格が-2.0、食料品・アルコール・たばこも-0.3%となった。ECBにとって懸念すべき水準となったものの、現状では、来週の理事会で直ちに政策対応するとはみられていない。

④ イタリア国家統計局が発表した第2・四半期GDP速報値と同じ前期比-0.2%の伸び率となった。前年比は-0.2%、速報値は-0.3%となった。消費支出は+0.2%、投資は-2.1%、輸出は+1.9%となり、輸入も+2.0%となった。第2・四半期末までのいわゆる確定した成長率は-0.2%。これは残り2四半期の成長がゼロだった場合、年間成長率は-0.2%となることを示す。

⑤ ユーロ圏18カ国の7月の失業率は、前月と変わらずの11.5%となった。ドイツは4.9%（前月5.0%）、フランスは10.3%（10.2%）、スペインは24.5%（24.6%）、イタリアは12.6%（12.3%）、オーストリアは4.9%（5.0%）、ポルトガルは14.0%（14.1%）、スウェーデンは7.9%（7.9%）、オーストリアは4.9%（5.0%）となった。最も高かったギリシャは5月時点で27.2%だったが、4月より0.1ポイント改善している。EU28カ国の失業率も前月と同じ10.2%となった。ユーロ圏では4-6月期のGDPがゼロ成長となり、ウクライナ情勢が悪化する中、景気の先行きに懸念が強まっている。徐々に改善してきた雇用状況に悪影響が及ぶ恐れもある。

3:30

NY金は、中心限月が前日比3.00ドル安の1オンス=1287.40ドルで取引を終了した。

4:20

NY原油は、中心限月が前日比1.41ドル高の1バレル=95.96ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1287.40	-3.00
NY 原油	95.96	+1.41

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

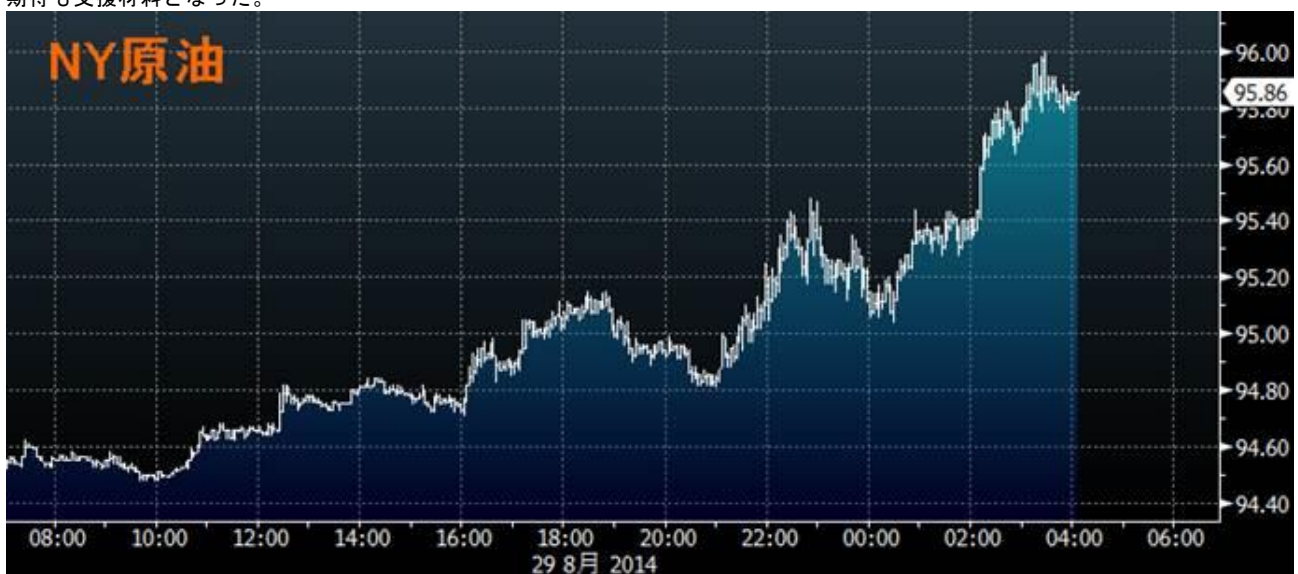
NY金は、序盤から利益確定の売りが先行した。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことで、ドルの代替資産とされる金を売る動きも見られ、小幅反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、ウクライナをめぐるロシアと欧米の緊張に伴うロシア原油の供給不安が、引き続き買いを促した。米シカゴ購買部協会景況指数やミシガン大消費者信頼感指数が市場の予想以上に改善したため、米景気の回復加速によるエネルギー需要の増加期待も支援材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17098.45	+18.88	17110.42	17035.38
S&P500 種	2003.36	+6.62	2003.38	1994.65
ナスダック	4580.27	+22.58	4580.27	4553.78

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、前日の下落で割安感の出た銘柄に買い戻しが入るなど、序盤の主要株価は小動きながら堅調な動きとなった。しかし、その後、英政府が国際テロに対する警戒レベルを上げたとの報道を受けて、リスク回避の売りが出て下落する場面もあった。その後はプラス圏まで値を戻したものの、3連休を控えて売買も手控えられており、小動きの展開が続いた。



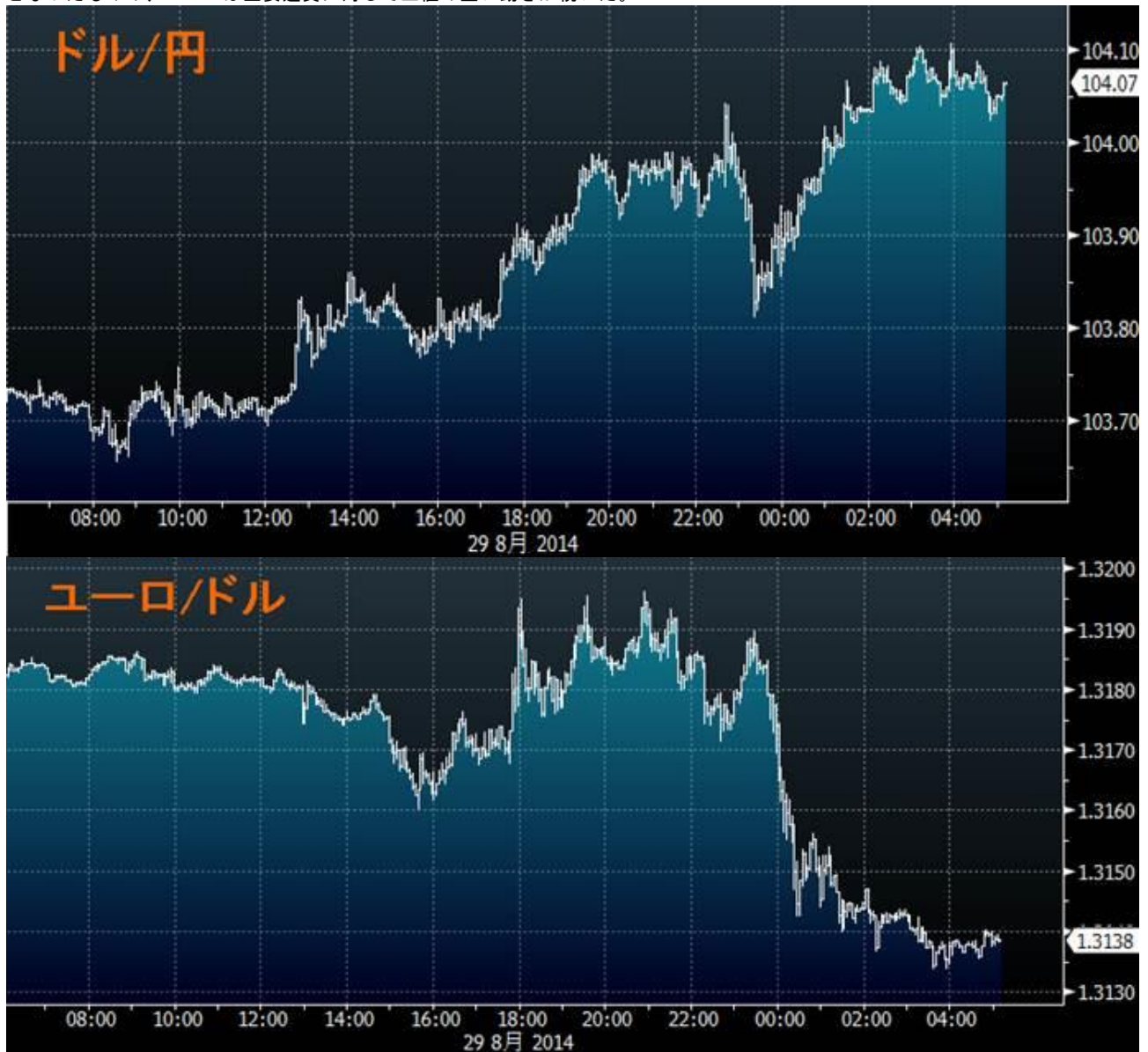
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	104.07	104.11	103.82
EUR/JPY	136.74	137.17	136.59
GBP/JPY	172.81	172.82	172.30
AUD/JPY	97.19	97.20	97.06
NZD/JPY	87.01	87.15	86.90
EUR/USD	1.3140	1.3194	1.3134
AUD/USD	0.9340	0.9356	0.9332

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を上回る結果となったものの、反応は限定的となった。その後は、リスク回避の動きなどから、一時円買いの動きも見られたものの、ドル円・クロス円の限定的となった。その後、ドルは値を戻す動きとなったものの、ユーロは主要通貨に対して上値の重い動きが続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。